

【理念】

患者さまの立場に立ち、その方の終生にわたり健康を支え、質の高い診療と心地よい療養環境を提供します。

【基本方針】

- ★ 患者様のニーズと負担を考慮し、適正で効率的な医療を提供します。
- ★ 医療スタッフによる十分な説明と患者さまの選択に基づく開かれた医療を進めます。
- ★ 地域に根ざし、患者さまに終生かかわり合いを持つ医療を目指します。
- ★ 患者さま、職員にとって「心地よい環境」の向上に努めます。



《目次》

- ・ 院長あいさつ
- ・ くすりの謎
- ・ 居宅介護支援事業所
- ・ 通所リハビリテーションでの在宅支援
- ・ ナースこーる
- ・ 名月コンサート

医療法人 誠和会

**倉敷記念病院
倉敷第一病院**

事業統合記念式典

が平成29年10月4日に行われました

院長あいさつ

倉敷第一病院は、2017年9月1日をもって、
一般財団法人 淳風会から、倉敷記念病院を中心とする医療法人 誠和会に
経営統合されました。

新聞などでも報じられていましたので、御存知の方も多いと思います。

経営統合とはどういうことか？

倉敷第一病院がなくなって、倉敷記念病院になるのか？ などの質問を受けること
があります。しかし実際には法人名が変わるだけでその診療には、何の変化も
ありません。

外来・入院・検査・手術・リハビリ・通所などすべて今までと同じです。

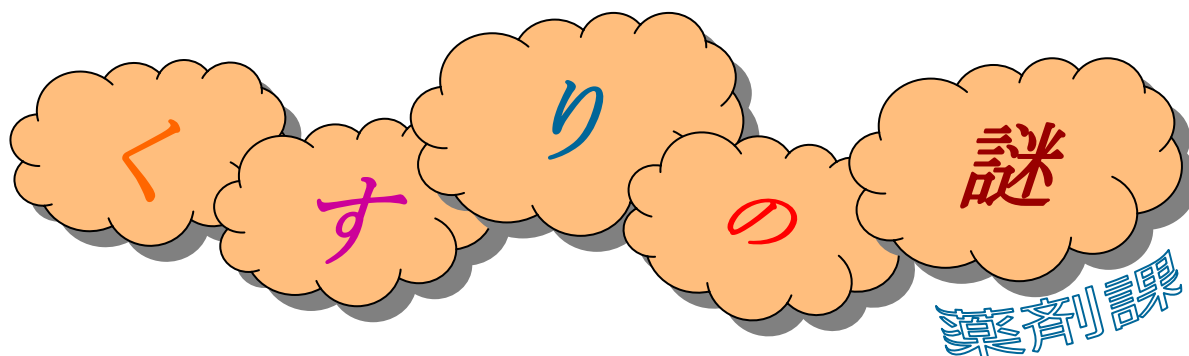
幸い職員もほとんど退職者もなく、そのまま残って働いています。

倉敷記念病院とは、今までも友好的な関係を保っており、特に介護部門では、当院
にない強みを持っておられます。お互いに力をあわせて倉敷市西部の医療を
支えられるように頑張りたいと存じます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

倉敷第一病院 院長
佐藤 和道





肺炎球菌ワクチン打っていますか？

肺炎は、日本人の死因第3位。そして、肺炎で亡くなる方の約95%が65歳以上の高齢者です。肺炎の原因菌は沢山ありますが、第1位が肺炎球菌なのです。

平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。高齢者に接種が承認されている肺炎球菌ワクチンは、「ニューモバックスNP」と「プレベナー13」の2種類です。

しかし、定期接種の対象となるのは「ニューモバックスNP」のみで、「プレベナー13」は対象となりません。

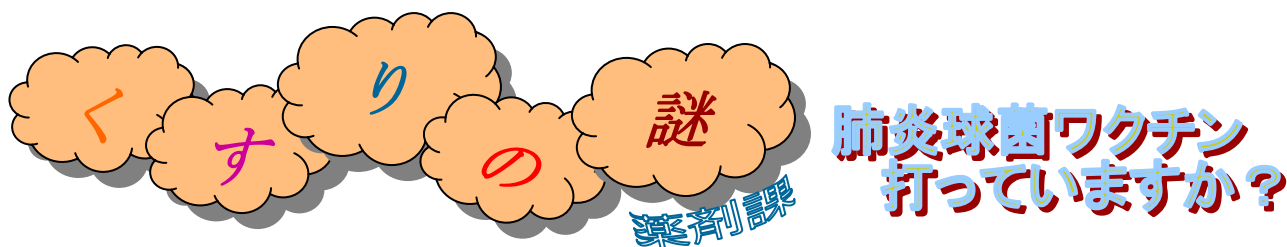
「プレベナー13」は補助の対象となりませんが、「ニューモバックスNP」と菌から身体を守る範囲が違うため、接種することでより予防が強固なものとなります。

☆ 倉敷第一病院での自己負担額は以下の通りです。

ニューモバックスNP(補助の対象の方)	3000円
ニューモバックスNP(補助の対象外の方)	7560円
プレベナー13	7560円



※ 必ずしも上記の金額とは限りません。詳しくは受付でお問い合わせ下さい。



☆ 対象年齢の方は定期接種の対象として、自治体から補助が出ます。

平成29年度に以下の年齢になる方	
65歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日
70歳	昭和22年4月2日～昭和23年4月1日
75歳	昭和17年4月2日～昭和18年4月1日
80歳	昭和12年4月2日～昭和13年4月1日
85歳	昭和7年4月2日～昭和8年4月1日
90歳	昭和2年4月2日～昭和3年4月1日
95歳	大正11年4月2日～大正12年4月1日
100歳	大正6年4月2日～大正7年4月1日

60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方



これからの季節は風邪やインフルエンザが流行します。高齢者の方は重症化を防ぐために、肺炎球菌ワクチンだけでなくインフルエンザワクチンも接種しましょう。ただし、肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンは同時に接種できません。1週間は間隔が必要です。また、ワクチンを接種したからといって肺炎にかからないとはかぎりません。手洗いうがいをして、菌から身を守りましょう！

居宅介護支援事業所

「居宅介護支援事業所」は、介護保険のサービスに利用全般について相談を応じる事業所です。介護認定を持つご利用者やご家族の希望に沿った介護サービスを適切に利用できる様に、ご利用者やご家族の心身状況や生活環境などに配慮し、利用する介護の種類や内容を定めた「ケアプラン」を作成します。ケアプランに基づいてサービスが実施されます。

<介護サービス種類の一部を紹介>



* 自宅での日常生活の手助け

訪問介護(ホームヘルプ)

- ・身体の介護や、生活の援助など。食事や入浴、排泄の介助など。掃除や洗濯など。

* 施設に通って利用するサービス

通所介護(デイサービス)

- ・食事や入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行います。レクリエーションなど余暇活動が主ですが、最近は運動にも力を入れている所が多いです。

通所リハビリ(デイケア)

- ・入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のためのリハビリテーションを日帰りで行います。理学療法士や作業療法士がリハビリ計画を作成し専門的にリハビリを実施してくれます。

* 訪問してもらい利用するサービス

訪問入浴

- ・看護師と介護士が居宅に訪問し、移動入浴車などで入浴介護をします。

訪問リハビリテーション

- ・理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が居宅を訪問しリハビリを実施します。

訪問看護

- ・疾患など抱えている人について看護師が居宅を訪問し、療養上のお世話や診療の補助をします。



その他にも環境整備のため福祉用具レンタルや住宅改修、生活の支援が受けられるショートステイなどもあります。

生活において困り事や不便に思う事はそれぞれ違います。

当居宅では、しっかりとご利用の気持ちに沿った支援をしていく事を目的としています。いつでも相談に来て下さいね。

通所リハビリテーションでの在宅支援

団塊世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が包括的に確保される体制＜地域包括ケアシステム＞の構築に向けて、全国、各市町村でもさまざまな取り組みが行われています。

～生活期のリハビリ、そして社会へ～

地域包括ケアシステムの一環として、リハビリの役割も大きく変化しています。

「日常生活の活動を高め、利用者の意欲を引き出し、生きがい作りや社会参加を促すこと」が大きな目標とされています。

今後も、個々の状態や意向に基づく、適切な目標設定を行い、質の高い適切なリハビリテーションを提供して行きたいと思っています。

そこで、6月から新しいリハビリを提供しています。

3本の柱（リハビリ）で あなたの家（生活）を支えます！

リハビリの人に
見てもらえて、
教えてもらえて、
うれしい！



1対1



皆とやった運動を
家でも！

自主

皆と一緒に
出来るから楽し
いね！



小グループ

～身体機能改善1チーム～

寝返り・起き上がり・座位
保持動作の改善・獲得

～身体機能改善2改善チーム～

立ち上がり・立位保持・歩行
動作の改善・獲得

～生活のしづらさ改善チーム～

更衣・食事・トイレ・入浴
動作の改善・獲得

～家事動作改善チーム～

洗濯・炊事・掃除・買い物
動作の改善・獲得

家族会

年2回開催



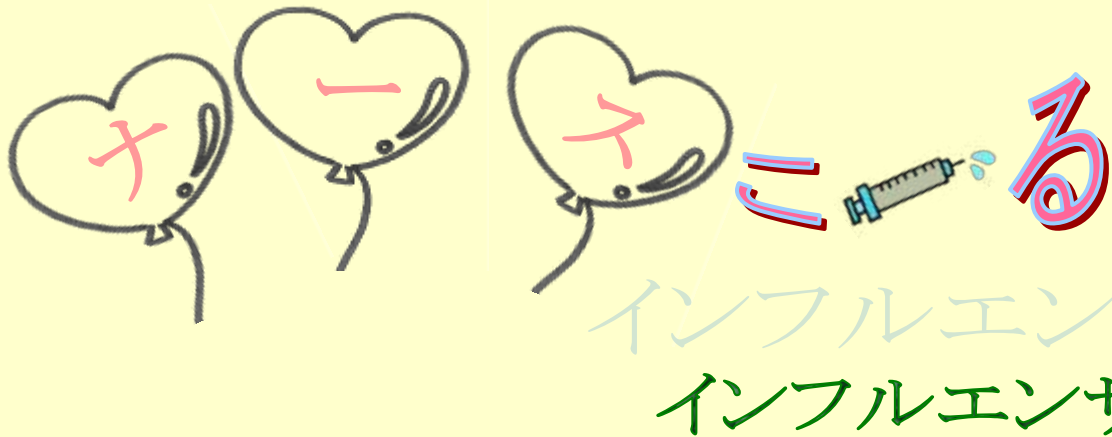
季刊誌

3ヶ月毎に発行



事業所の取り組みや季節に応じた健康面での注意事項などを掲載し、利用者・家族・ケアマネジャーに配布しています。

職員による情報提供や介護についての勉強会などを行い、心身共に利用者・家族を支援しています。



インフルエンザ インフルエンザ

10月に入り急に寒暖差が激しくなりましたが、皆様は体調を崩されておられませんでしょうか？ 今回はインフルエンザのお話をします。

外来診察室で、「インフルエンザの予防接種はいつからかなあ？」とお声をよく聞くようになりました。当院のインフルエンザワクチン接種は11月くらいから開始予定です。インフルエンザワクチンは、症状の重症化や重篤な後遺症・死亡の予防が目的であり、接種することでインフルエンザにかからなくなるわけではありません。ワクチン接種時に、「これでインフルエンザにかからんな」と言われますが、「予防接種はインフルエンザにかかっても症状が軽くおわります」と説明しています。接種後、免疫がつくまで約2週間かかり、効果の持続は約3～5ヶ月間と言われています。

厚生労働省10月27日発表のインフルエンザの発生状況によると、10月16日～10月22日は岡山県では、5例発症し、広島県は12例発症となっています。流行はまだまだ先と思いたいのですが、発症していることは事実なので、うがい・手洗いをしっかり行い、湿度管理も予防のひとつなのでお部屋の加湿を行いインフルエンザを予防して、快適な日々をお過ごし下さい。

Q6. インフルエンザではどんな症状が出たら医療機関へ行けばいいの？

目安として、比較的急速に38℃以上の発熱があり、せきやのどの痛み、全身の倦怠感を伴う場合はインフルエンザに感染している可能性があります。こういった症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

お年寄りやお子さん、妊婦さん、持病のある方、そして下記のような重症化のサインがみられる場合は、すぐに医療機関を受診してください。

重症化のサイン	
お子さんでは	大人では
<input type="checkbox"/> けいれんしたり呼びかけにこたえない	<input type="checkbox"/> 呼吸困難、または息切れがある
<input type="checkbox"/> 呼吸が速い、苦しそう	<input type="checkbox"/> 胸の痛みが続いている
<input type="checkbox"/> 顔色が悪い(青白)	<input type="checkbox"/> 嘔吐や下痢が続いている
<input type="checkbox"/> 嘔吐や下痢が続いている	<input type="checkbox"/> 症状が長引いて悪化してきた
<input type="checkbox"/> 症状が長引いて悪化してきた	



名月コンサート 2017



9月27日(水)に当院の恒例行事である名月コンサートが開催されました。奏者には、くらしき作陽大学学生のフルート4重奏の方々をお招きし、秋の名曲など14曲を演奏して頂きました。フルート独特の澄んで美しい音色が響き渡り、来場者の皆様は笑顔で身体を揺らしながら手拍子され、会場が一体となるような素晴らしいコンサートとなりました。来場者の方々の笑顔を見ることができスタッフ一同嬉しく思っております。今後とも、地域に愛される病院を目指して、さまざまな活動を行っていきます。

企画・レクリエーション委員会